JPX
東証上場
証券コード:3435

第57期 事業のご報告
2020年4月1日～2021年3月31日

株主通信

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を支えています。

NEW

ホームページを
リニューアルしました

サンコーテクノ株式会社

PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること、
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを目指しております。

「一般社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業プログラム『倫理17000』の第1号に認定

サンコーテクノグループ
S.T.G VISION 2023

私たちは
独自の技術とサービスに磨きをかけ、
安全・安心の価値を追究して、
社会に役立つ集団となります

SDGsへの取組み

当社グループは、SDGs（持続可能な開発目標）についても、
さまざまなステークホルダーと共に、達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

主な取組み

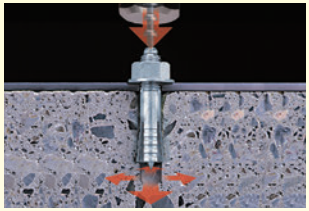
1.企業見学・職場体験学習・インターンシップの受入れ
2.地域行事への協力
3.環境負荷の低減
4.女性活躍の推進
5.働きやすく、働きがいのある職場環境づくり
6.従業員の安心と安全を追求
7.メーカーとしての責任と役割
8.独自の締結技術を追究

FLAGSHIP

「あと施工アンカー」とは?

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するように、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アンカー」が使用されています。
当社は「あと施工アンカー」市場においてトップシェアを維持しております。

釘


あと施工アンカー

「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております

自動販売機の固定に

フェンスの取付けに

ジェットファンの取付けに

室外機の取付けに

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、罹患された皆様の早期回復と、感染の早期終息を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役社長
洞下英人

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに、当社の2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績と今後の取組みについてご説明する株主通信をお届けいたします。本誌を通じて、当社へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

事業環境の構造変化に適応し、「社会に役立つこと」を通じて安定成長基盤を構築してまいります。

1. 2021年3月期の連結業績と配当につきまして

当社グループの中期経営計画の最終年度でありました2021年3月期は、地方圏を中心に堅調なインフラ・土木関連需要を取り込んだ一方、新型コロナウイルス感染症の影響により都市圏の建築設備工事が減少し、機能材事業の売上高も減少したことなどから、売上高は前連結会計年度比3.0%減の17,940百万円となりました。また、営業利益につきましては、従来から注力してきた業務効率化や販管費の削減のほか、M&Aにより2019年から連結化した成光産業の利益貢献等はあったものの、原材料費の上昇等の影響もあり、同2.2%減の1,475百万円となりました。

これを受けて、1株当たりの期末配当金につきましては期初計画通り、前期と同額の26円とさせていただきました。当社グループは今後も、将来の事業展開・経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していくことを基本方針としてまいります。

2. 中期経営計画の総括および外部環境認識

このたび終了した6カ年の中期経営計画の取組みを通じ、当社グループは大きく3つの成果を得ることができたと認識しております。

1点目は、従来の「モノ売り」を中心とするビジネスモデルから、「製品」「技術」「サービス」をバランス良く提供しながらお客様の課題を解決する「コト売り」へのシフトを地域密着で進めてきたことで、当社製品の「ブランド力」を高めることができました。特に、各営業拠点の活動をファ

スニング／機能材の両事業本部がサポートするきめ細かなソリューション営業に注力した結果、当社製品を選んでいただくケースが徐々に増えており、新・中期経営計画においても、この取組みを進化させてまいります。

新製品：サイズミックエコフィラー SE-1300V（2020年11月発売）

[接着系あと施工アンカー無機系注入方式カートリッジ型プレ混合式]

ソリューション①
優れた経済性
- 容器の再使用化で約20%の材料費をコストダウン※
- 作業に合わせた容量を選択可能

ソリューション②
効率・省力化
- 材料吐出までの工程を約40%削減※
- コードレス電動ディスペンサーで省力施工
- 550ccの撹拌時間は50%に短縮※

ソリューション③
エコロジー
- 容器の再使用によるプラスチックゴミの低減
- 残材とプラスチックの分別・廃棄が可能

※当社従来品比

2点目は、中期経営計画の一貫した戦略として進めてきた「土木分野の強化」です。同分野はビジネスの進め方や時間軸等が建築分野と大きく異なるため当初は苦労しましたが、地道な取組みを継続することでノウハウが蓄積し、直近数年の工事実績の増加や、関連商材の伸びとして結実し始めております。必要な設備投資もこの6年間で着実に進めることができたことから、新・中期経営計画でさらなる成長を図ります。

3点目は、機能材事業の拡大による事業ポートフォリオ改革の進展です。選択と集中によってアルコール検知器や紫外線LED照射器、FRPシート「e-シート」など、利便性や環境配慮を追求した製品が伸長したほか、2019年の浦和電研と成光産業の連結化により、電子基板関連や物流・包装機器関連でのシナジーが拡大しました。機能材事業をファスニング事業に次ぐ収益の柱に育て「外部環境に左右されず、安定成長を実現する基盤・体制を構築」する取組みは、6年間で着実に前進したと自負しております。将来的には、新たな事業も視野に、より強固な事業ポートフォリオの実現を目指してまいります。

一方、2019年末から続くコロナ禍は私たちの社会構造を大きく変容させたほか、足元では変異種の感染拡大もあり、いまだに収束が見えておりません。新・中期経営計画においては、当社グループを取り巻く事業環境がこれまでとは大きく変わったことを前提に、まずは「社会の構造変化への適応」に取り組み、次なるステップである「既存事業の進化」および「新領域への挑戦」へとつないでいく所存です。また、環境変化のスピードは今後も高まり続けることを念頭に、敢えて3カ年の「短期決戦」とすることで、選択と集中によって安定成長基盤を構築してまいります。

3. 新・中期経営計画の概要

2022年3月期よりスタートした新・中期経営計画は、新たに策定したS.T.G Vision2023「私たちは独自の技術とサービスに磨きをかけ、安全・安心の価値を追究して、社会に役立つ集団となります」のもと、前述の3つのステップによって「売上高200億円」の実現を目指します。そのための最も重要な施策は「人財育成」であり、新たな「コト」づくりへの挑戦を通じて一人ひとりが成長を実感し、当社グループの安定成長基盤に磨きをかけることに主眼を置いてまいります。時間軸のイメージとして、新・中期経営計画の初年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業績の速やかな回復に重点を置きつつ、「既存事業の進化」については3年間を通じて継続し、両取組みの成果を活かしながら、「新領域への挑戦」へとシフトしてまいります。

新たな「コト」づくりへの挑戦を担う人財育成にあたっては、前述のS.T.G Vision2023を個々人のミッションや目標に落とし込み、上司のコーチングや各事業本部のサポートによって達成・成長へと導く取組みを開始しました。そのための布石の1つとして、当社は昨年4月より、人事評価の軸足を定量評価から定性評価へシフトしております。今後も人財育成策は常にブラッシュアップを継続し、「社会に役立つこと」を通じた持続的な成長を実現するため、一人ひとりの「挑戦」を後押しし、その仕組みづくりに注力してまいります。

4. 「社会に役立つこと」の実践にあたり

足元では国内外で脱炭素や気候変動リスクの低減へ向けた動きが急拡大しており、SDGsやESGへの取組みを含む「持続可能性（サステナビリティ）」の追求が、世界最大の共通課題となりつつあります。当社グループも、日本政府が掲げる2050年カーボンニュートラルへの取組みに沿った活動として、今後も本社周辺における太陽光発電と自社利用を継続していくとともに、事業を通じた脱炭素への取組みにおいては、太陽光発電など再生可能エネルギー関連の事業機会を取り込んでいく構えです。新・中期経営ビジョンや新・中期経営計画のキーワードを「社会に役立つこと」とした理由は、脱炭素を含む世界のさまざまな社会的課題を従業員一人ひとりが「自分ごと」として捉え、当事者意識を持って行動に移してほしいと期待しているからでもあります。またそれこそが、当社グループのビジネスチャンスの拡大と安定成長、そして社会の持続的発展につながるものと確信しております。このたび、そうしたサステナビリティへの取組みを、リニューアルしたホームページの「サステナビリティ」にまとめましたので、ぜひご覧ください。

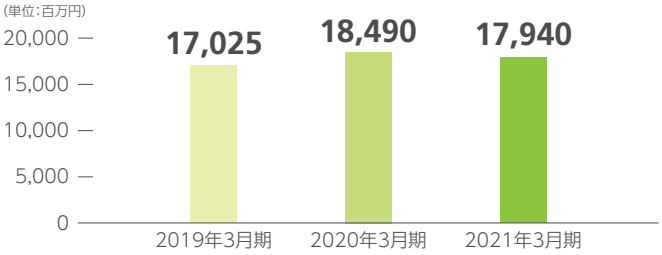
当社グループは引き続き「社会に役立つこと」を通じ、長期安定成長を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当社グループのサステナビリティ（ホームページ）

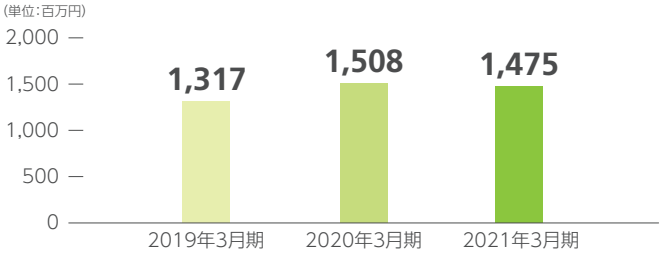
HIGHLIGHTS 連結財務ハイライト

2021年3月期は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令により一部工事で中断等の措置がとられたものの、インフラ整備を中心に一定水準の需要に支えられました。こうしたなか、成長戦略のキーワードである「安定供給」「安定品質」「市場創出」のさらなる促進に努めた結果、売上高は17,940百万円（前連結会計年度比3.0%減）、営業利益1,475百万円（同2.2%減）、経常利益1,481百万円（同3.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,026百万円（同1.8%増）となりました。

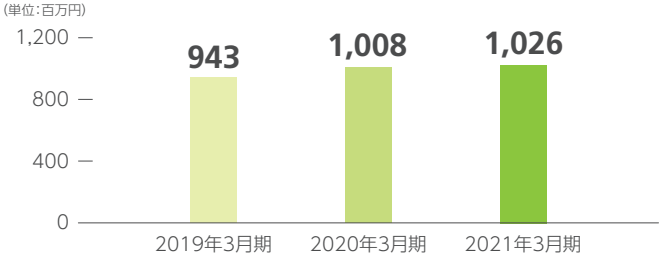
売上高



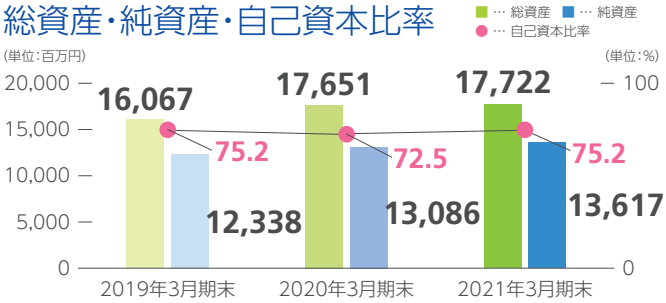
営業利益



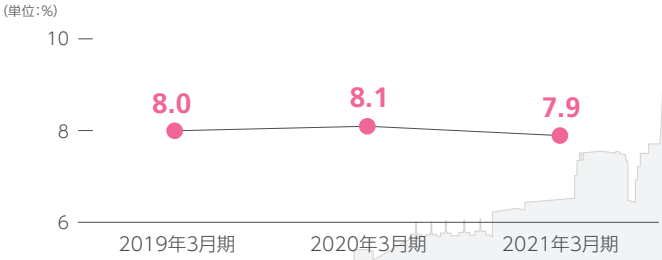
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



ROE



2022年3月期通期業績予想

売上高	18,350百万円
営業利益	1,520百万円
経常利益	1,520百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,020百万円

TOPICS 2020年度および最近のトピックス

製品情報 2020年4月・2021年3月

国土交通省・新技術情報提供システム（NETIS）に登録

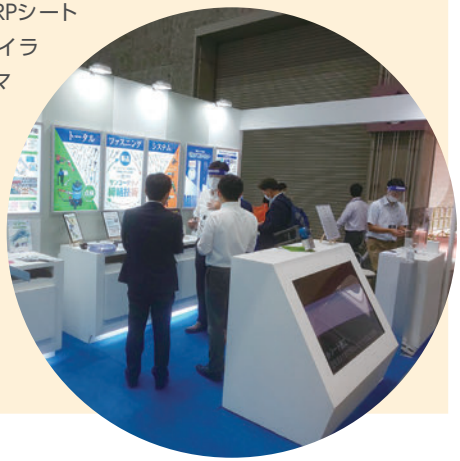
2020年4月には「マルチスクリュー Tタイプ」、2021年3月には「イージーアイアンカー EZI」がNETISに登録となりました。

●NETIS登録番号
マルチスクリュー Tタイプ:KT-200026-A
イージーアイアンカー EZI:KT-200154-A

展示会 2020年7月

「メンテナンス・レジリエンスOSAKA2020」第12回インフラ検査・維持管理展に出展

紫外線硬化型FRPシート「e-シート」、スパイラル付き鋼管杭「マルチスクリュー」を中心に展示を行いました。



コーポレート・ガバナンス 2020年6月

譲渡制限付株式報酬制度を導入

株主の皆様との一層の価値共有を進めるため、取締役に対する新たなインセンティブ制度として、譲渡制限付株式報酬制度を導入しました（2020年6月株主総会決議事項）。

製品情報 2020年10月

拡底式「メタルアンダーカットアンカー」を発売

アンカー自体が孔壁を削りながら拡底を行う「メタルアンダーカットアンカー」は、大きな拡底部を少ない作業工程で精確に形成できるほか、アンカーと専用ツールに施された目視確認の機能により、確実な施工管理が可能です。また、使用後の抜取りも可能です。

展示会　2020年10月

オンライン展示会「フクイ建設技術オンラインフェア2020」に出展

オンライン展示会に初出展し、均一な切込み深さを確保し、アタッチメント貼付け時の固定が確実な「円形治具を用いる補修材料の付着試験」方法を動画で紹介しました。

●紹介動画
https://www.youtube.com/watch?v=t1BeXwjPNvg

製品情報　2021年3月

都営地下鉄で呼気アルコール検知器「ALC Face（アルコ フェイス） ST-2000」が採用

東京都交通局が運営する都営地下鉄において、呼気アルコール検知器「ALC Face ST-2000」が採用されました。

製品情報　2020年11月

接着系あと施工アンカー 無機系注入方式カートリッジ型プレ混合式「サイズミックエコフィラー SE-1300V」を発売

サイズミックエコフィラーシリーズとして初めて、同一のカートリッジで容量選択や使用済みカートリッジの再使用・分別廃棄が可能となったほか、材料吐出までの作業工程も約40%削減※しました。

※当社従来品比

経営　2021年6月

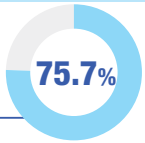
当社ホームページを全面リニューアルしました

株主様をはじめ、ステークホルダーの皆様がより見やすく、使いやすいホームページにするため全面リニューアルを行いました。デザインを一新したほか、「サステナビリティ」というコンテンツを新たに設けるなど、情報も拡充しました。

●新しいホームページはこちら
https://sanko-techno.co.jp/

OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業



各種設備工事等の需要は、民間工事・公共工事ともに前年を下回る水準にとどまったことにより、主力製品のあと施工アンカーの販売は減少いたしました。また、インフラ関連を中心に完成工事高が増加したものの、ドリル・ファスナー製品の販売が減少し、海外売上高についても減少したことから総じて軟調な推移となりました。この結果、当セグメントの売上高は13,588百万円(前連結会計年度比3.0%減)、セグメント利益は1,761百万円(同6.6%減)となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類

●ドリル・電動工具関連

- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工ツール
- 確認試験機

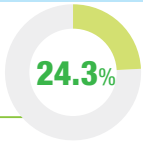
●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー

●工事関連

- 建設関連(耐震補強工事)
- 土木関連(一面耐震補強工事等)
- 太陽光関連

機能材事業



電動油圧工具関連の販売が、国内・海外ともに前年を下回る水準で推移したほか、電子基板関連、FRPシート関連およびアルコール検知器関連の販売も減少いたしました。一方、2020年3月期第2四半期より新たに加わった包装・物流機器関連の売上高が増加いたしました。この結果、当セグメントの売上高は4,352百万円(前連結会計年度比2.9%減)、セグメント利益は526百万円(同15.7%増)となりました。

●FRPシート関連

●各種測定器、電子プリント基板関連

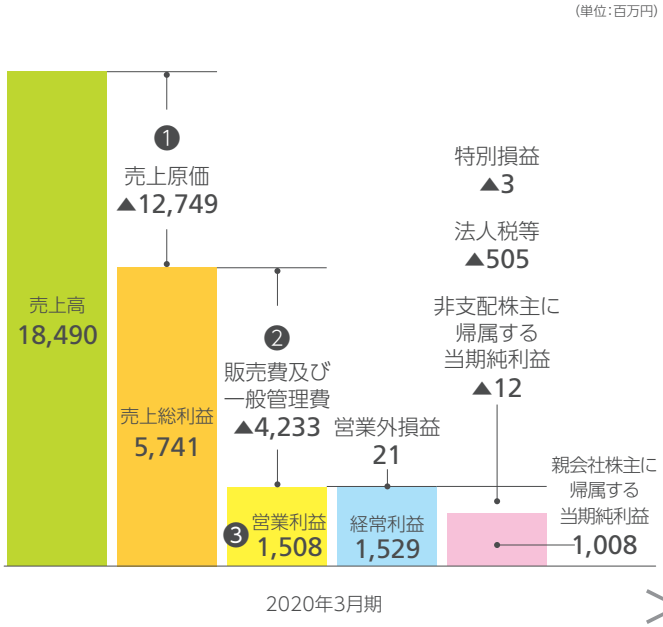
●電動油圧工具関連

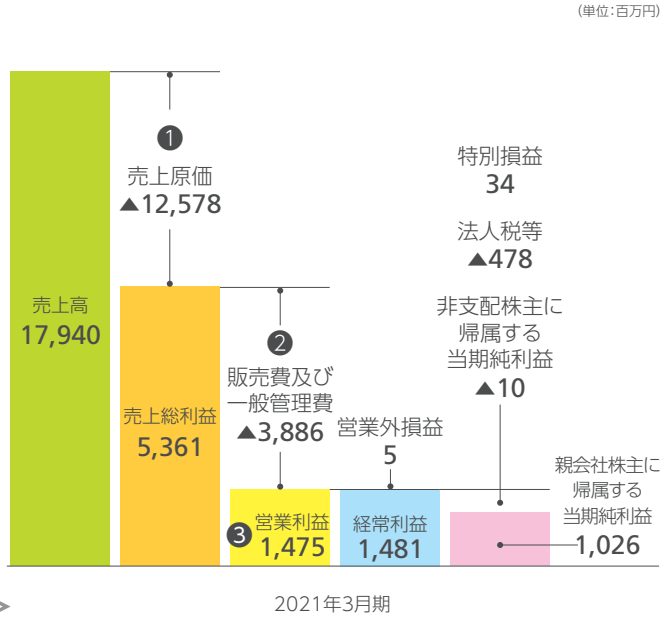
- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等

●包装・物流機器関連

関連性の深いSDGs目標

連結損益計算書の概要



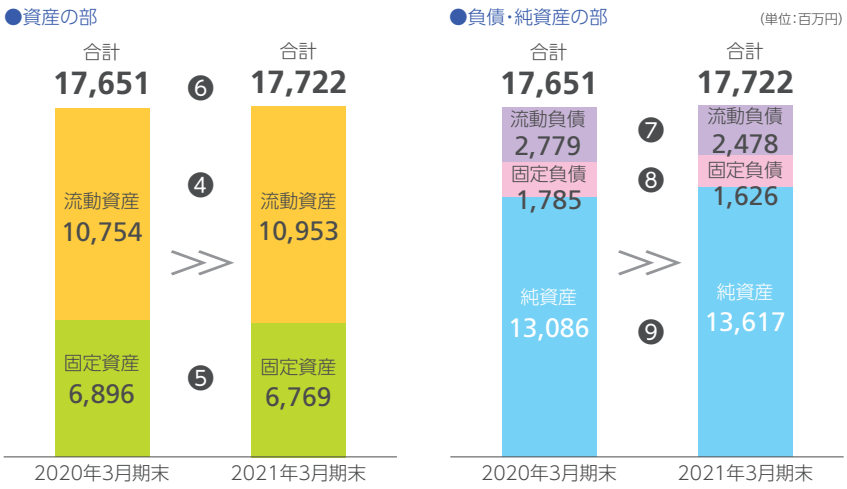


❶売上原価率は1.2ポイント増加し、70.1%となりました。
❷販売費及び一般管理費率は1.2ポイント減少し、21.7%となりました。
❸これらの結果、営業利益率は横ばいの8.2%となりました。

詳細な財務諸表等をご覧になりたい方は、
当社ホームページ「IRライブラリー」の決算短信をご参照ください。

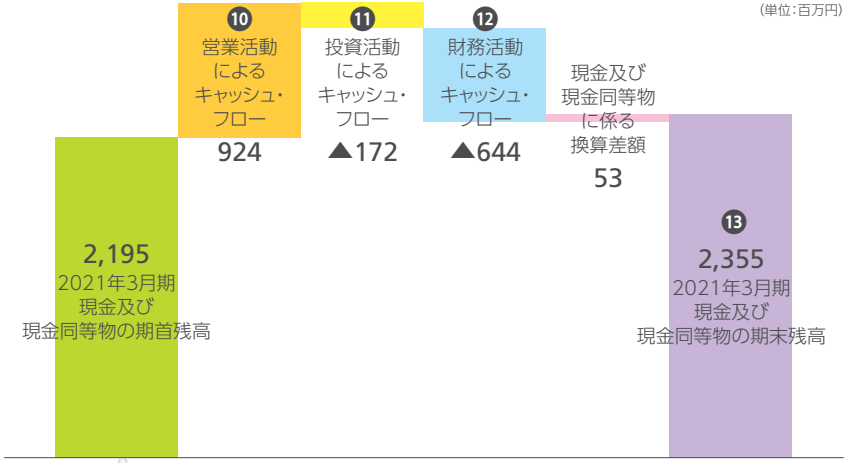
サンコーテクノ 検索 ⇒ トップ画面 ⇒ IR情報 ⇒ IRライブラリー

連結貸借対照表の概要



❹流動資産は、受取手形及び売掛金の増加等により198百万円増加いたしました。
❺固定資産は、有形固定資産の減少等により127百万円減少いたしました。
❻これらの結果、総資産は70百万円増加いたしました。
❼流動負債は、買掛金の減少等により301百万円減少いたしました。
❽固定負債は、長期借入金の減少等により159百万円減少いたしました。
❾純資産は、利益剰余金の増加等により531百万円増加いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



❿税金等調整前当期純利益等により、資金が増加いたしました。
⓫有形固定資産の取得による支出等により、資金が減少いたしました。
⓬配当金の支払額等により、資金が減少いたしました。
⓭これらの結果、現金及び現金同等物は、160百万円増加いたしました。

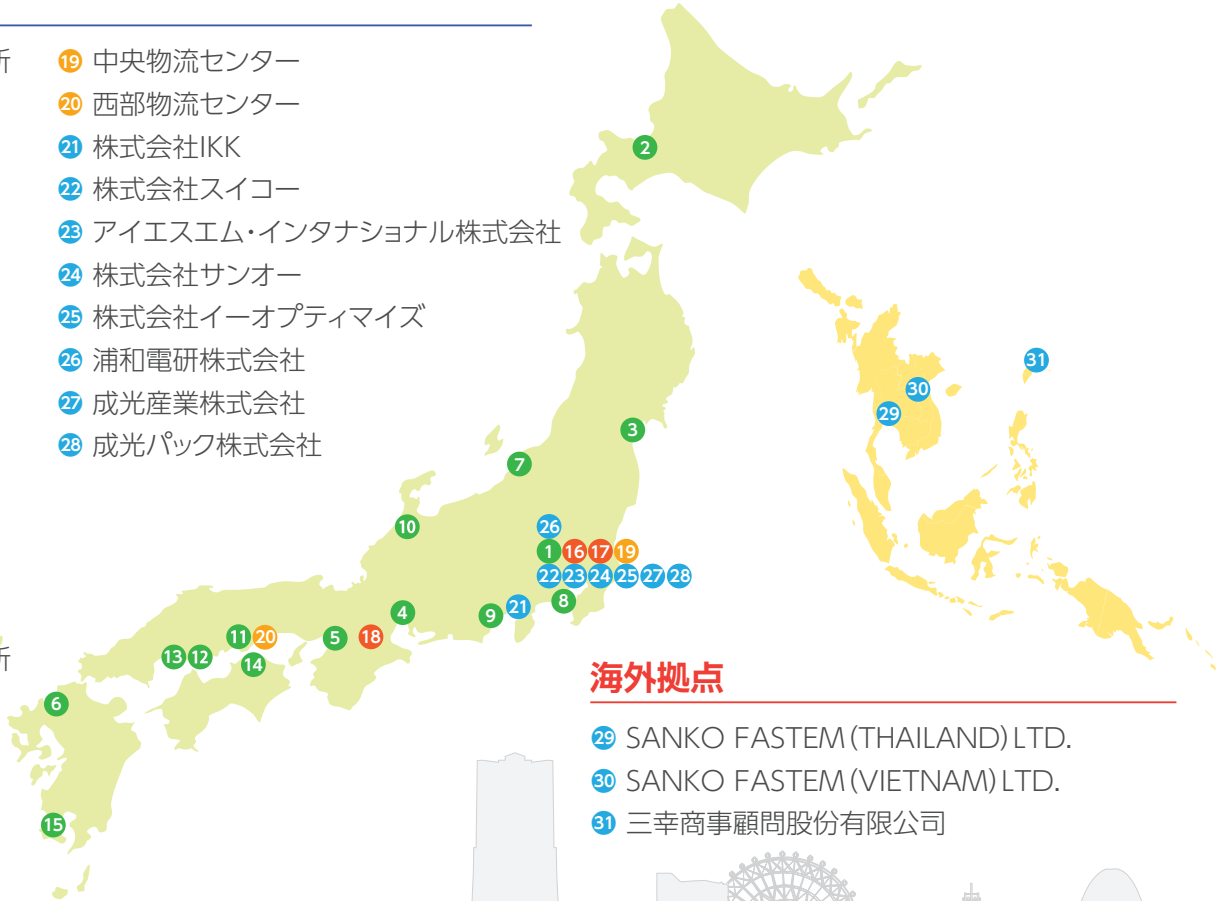
NETWORK 拠点

**57年のあゆみを経て、国内28拠点、海外3拠点からなる
サンコーテクノグループネットワークを展開しております。**

- 営業拠点
- 製造・開発拠点
- 物流拠点
- 関連会社

国内拠点

1. 南流山事業所
2. 札幌支店
3. 仙台支店
4. 名古屋支店
5. 大阪支社
6. 福岡支店
7. 新潟営業所
8. 横浜営業所
9. 静岡営業所
10. 金沢営業所
11. 岡山営業所
12. 広島営業所
13. 広島事業所
14. 高松営業所
15. 鹿児島営業所
16. 流山事業所
17. 野田工場
18. 奈良工場
19. 中央物流センター
20. 西部物流センター
21. 株式会社IKK
22. 株式会社スイコー
23. アイエスエム・インタナショナル株式会社
24. 株式会社サンオー
25. 株式会社イーオプティマイズ
26. 浦和電研株式会社
27. 成光産業株式会社
28. 成光パック株式会社



海外拠点

29. SANKO FASTEM (THAILAND) LTD.
30. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD.
31. 三幸商事顧問股份有限公司

OFFICERS 役員紹介

代表取締役社長

洞下（ほらげ） 英人（ひでと） 生年月日：1965年8月22日

1997年 7月　当社入社
2003年 4月　執行役員企画本部長
2004年 6月　取締役企画本部長
2009年 4月　取締役経営管理本部長
2010年 4月　取締役副社長
2010年 6月　代表取締役社長（現任）

座右の銘
知行合一
趣味
アウトドア

常務取締役

洞下（ほらげ） 正人（まさと） 生年月日：1962年1月8日

1984年 4月　三幸商事株式会社（現当社）入社
1996年 4月　取締役開発部長
1998年 4月　取締役営業本部長
2005年 4月　取締役新事業推進本部長
2009年 4月　取締役リニューアル事業部長
2013年 4月　常務取締役リニューアル事業及び技術開発管掌
2016年 4月　常務取締役
2018年 4月　常務取締役 兼 技術研究所所長（現任）

座右の銘
諸行無常
趣味
ゴルフ、スキー

社外取締役（監査等委員）

松岡（まつおか） 省一（しょういち） 生年月日：1949年1月12日

1971年 4月　株式会社守谷商会入社
2009年 1月　守谷鋼機株式会社入社
2009年 2月　同社代表取締役社長
2015年 6月　当社監査役
2016年 6月　社外取締役（監査等委員）（現任）

座右の銘
敬天愛人
趣味
音楽鑑賞、ゴルフ

社外取締役（監査等委員）

岩城（いわき） 龍夫（たつお） 生年月日：1953年11月13日

1977年 4月　会計検査院採用
1999年12月　会計検査院 第1局外務検査課副長
2007年 4月　同 第3局国土交通検査第2課総括副長
2010年 4月　同 第3局国土交通検査第2課統括調査官
2014年 4月　内閣府大臣官房公益法人行政担当室 兼 公益認定等委員会事務局政策企画調査官
2018年 6月　社外取締役（監査等委員）（現任）
2019年 4月　行政書士登録（岩城行政書士事務所）

座右の銘
時時勤払拭
（じじにつとめてふっしきせよ）
趣味
茶道（表千家）

常務取締役

八谷（はちや） 剛（つよし） 生年月日：1957年9月7日

1984年 4月　三幸商事株式会社（現当社）入社
1990年 4月　札幌営業所長
2010年 4月　常務取締役ファスニング事業及びセンサー事業担当
2013年 4月　常務取締役センサー事業管掌
2015年 4月　常務取締役機能材事業管掌
2016年 4月　常務取締役（現任）

座右の銘
元気が一番
趣味
ゴルフ

社外取締役（監査等委員）

佐藤（さとう） 靖（おさむ） 生年月日：1960年1月23日

1991年 4月　名城大学商学部助教授
1993年 4月　青森公立大学経営経済学部助教授
1995年 8月　博士（経済学）東北大学
1998年 4月　青山学院大学経営学部教授（現任）
2000年 6月　石原機械工業株式会社（現株式会社IKK）取締役
2005年 6月　当社社外取締役
2018年 6月　社外取締役（監査等委員）（現任）

座右の銘
和顔愛語
趣味
週末の日本酒

株式の状況（2021年3月31日現在）

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	8,745,408株
株主総数	3,582名
単元株主数	2,725名

大株主（2021年3月31日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
洞下　英人	1,165	14.81
東京中小企業投資育成株式会社	720	9.16
有限会社サンワールド	680	8.64
サンコーテクノ社員持株会	316	4.02
洞下　照夫	215	2.73
新井　栄	208	2.64
佐藤　静男	191	2.43
株式会社みずほ銀行	178	2.26
MSIP CLIENT SECURITIES	173	2.19
洞下　正人	160	2.03

（注）1.千株未満は切り捨てて表示しております。
2.当社は自己株式（879千株）を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株主様アンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆様に対する積極的な情報提供とコミュニケーションを心掛け、皆様のご意見を今後のさまざまな活動に反映してまいりたいと考えております。その一環として、今回の株主通信に株主様アンケートを同封させていただきました。大変お手数ではございますが、アンケートにご協力いただければ幸いです。

アンケート締め切り：2021年10月31日まで（消印有効）

INFORMATION

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ（https://sanko-techno.co.jp/）に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	318名（連結572名）（2021年3月31日現在）
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535　FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリルビット・ファスナー等）、複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社 浦和電研株式会社 成光産業株式会社 成光パック株式会社
非連結子会社	株式会社イーオプティマイズ
持分法適用関連会社	株式会社サンオー

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		み ず ほ 証 券：本店および全国各支店、プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行：本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。